

研究課題名	ぶどう膜炎における続発緑内障の発症と進行のリスク
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 坂口裕和
研究期間	2025 年 8 月 29 日 ～ 2027 年 6 月 30 日
対象者	2009 年 7 月から 2023 年 6 月の間に、広島大学病院眼科でぶどう膜炎と診断され治療を受けた 20 歳以上の患者さん
意義・目的	ぶどう膜炎は世界的な失明原因の一つですが、ぶどう膜炎続発緑内障は視機能を著しく損なう重大な合併症です。ぶどう膜炎続発緑内障は、その地域ごとの病因や基礎疾患の種類、疾患経過や患者さんの年齢など様々な因子により、その有病率は 5-46%と大きなばらつきがあり、十分なエビデンスの蓄積に至っていません。また続発緑内障による視機能障害の予防のため、高リスク患者の同定や積極的な治療介入が重要ですが、疫学報告が限られており十分な理解に至っていません。本研究では、ぶどう膜炎を有する日本人成人患者さんにおける続発緑内障の有病率を評価し、その病因、解剖学的分類および特定疾患における合併の状況を明らかにすることで、高リスク患者さんの早期同定と治療介入が可能となり、臨床において大きく貢献できることが期待されます。
研究の方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、性別、発症年齢、病型、部位、緑内障合併の有無、緑内障手術歴、視野検査の有無、眼圧、経過観察期間です。
情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授 坂口裕和
利用または提供を開始する予定日	2025 年 8 月 29 日（実施許可日以降）
個人情報の保護について	取得した情報から氏名・生年月日等の個人情報を削除し、代わりに新しく研究用の符号をつけて取り扱います。 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。 なお、公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せの窓口	本研究に関するご質問等あればお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5246

広島大学病院眼科 大学院生 佐田幾世、非常勤医師 原田陽介